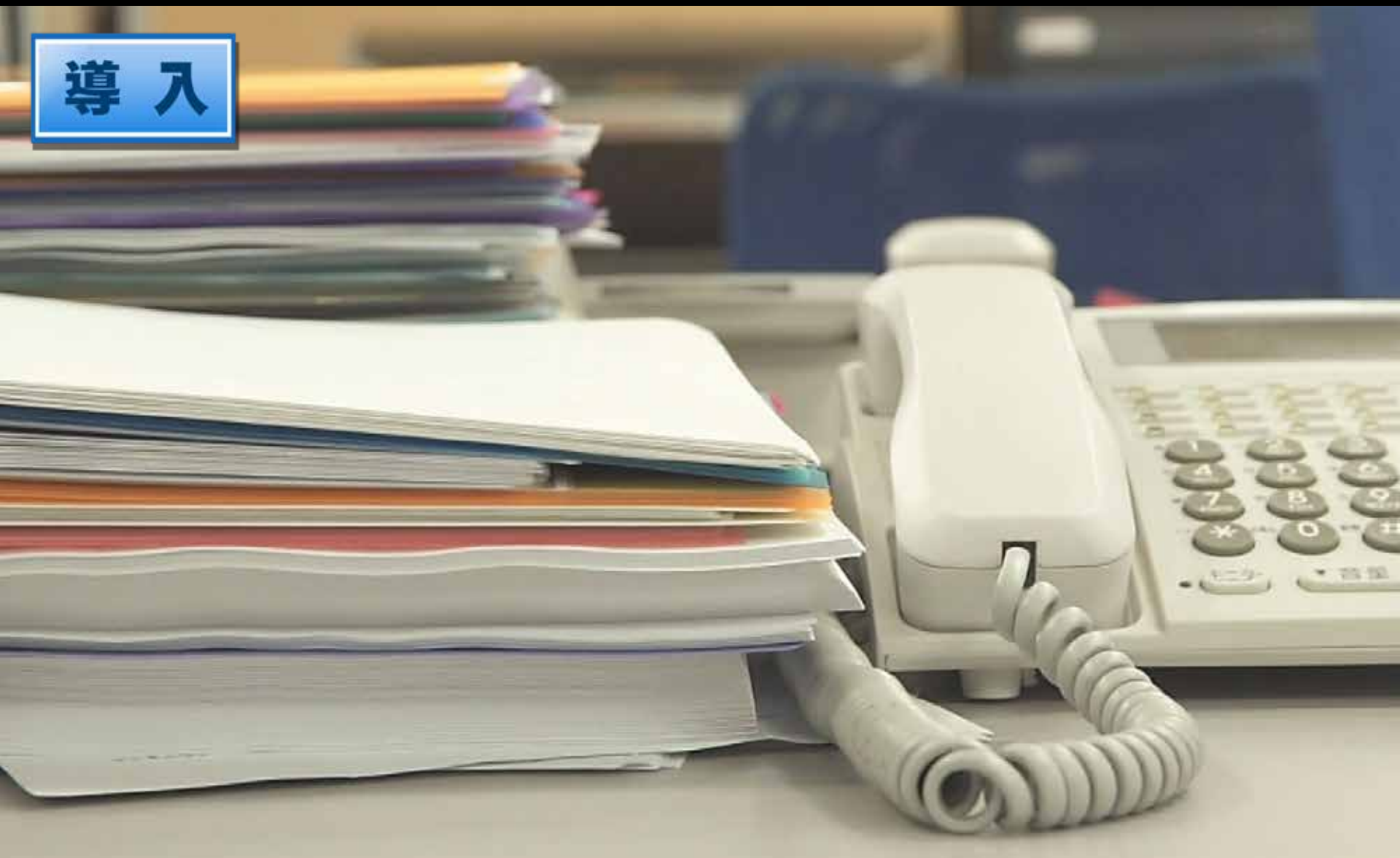


「従業者について」 ～情報セキュリティの意識啓発～

Part3: 組織としての対策 — No. 20

導入



皆さんは会社の業務を行う上で、「情報」を扱っているという意識をきちんと持っているでしょうか？

導入

仕事で手にしている資料が、それほど重要なものではないと考えたり・・・配慮せずに仕事の資料を扱っているとしたら、それはとんでもないことです。

導入

どんなに高度な情報漏洩(ろうえい)の防止システムを取り入れても・・・どんなにコストをかけて、ウイルス対策のためのシステムを取り入れても、情報を扱う人の意識が低くては、十分な効果が得られません。それがわかっているならば、会社でこんな注意を受けることも無いはずです。

用語解説

●ウイルス

他のファイルやプログラムに寄生し、不正な行為を行うプログラム。

「コンピュータウイルス対策基準」（平成12年 経済産業省告示）によると、「第三者のプログラムやデータベースに対して意図的に何らかの被害を及ぼすように作られたプログラムであり、自己伝染機能、潜伏機能、発病機能の各機能を一つ以上有するもの」と定義されている。

最近では、ウイルス、スパイウェア、ボットなどの不正プログラムを総称して「マルウェア」と呼んでいる。

【出典】

情報セキュリティ読本 IT時代の危機管理入門（六訂版）

著作：独立行政法人情報処理推進機構

発行：実教出版株式会社

事例

ただいま。

お帰りなさい。

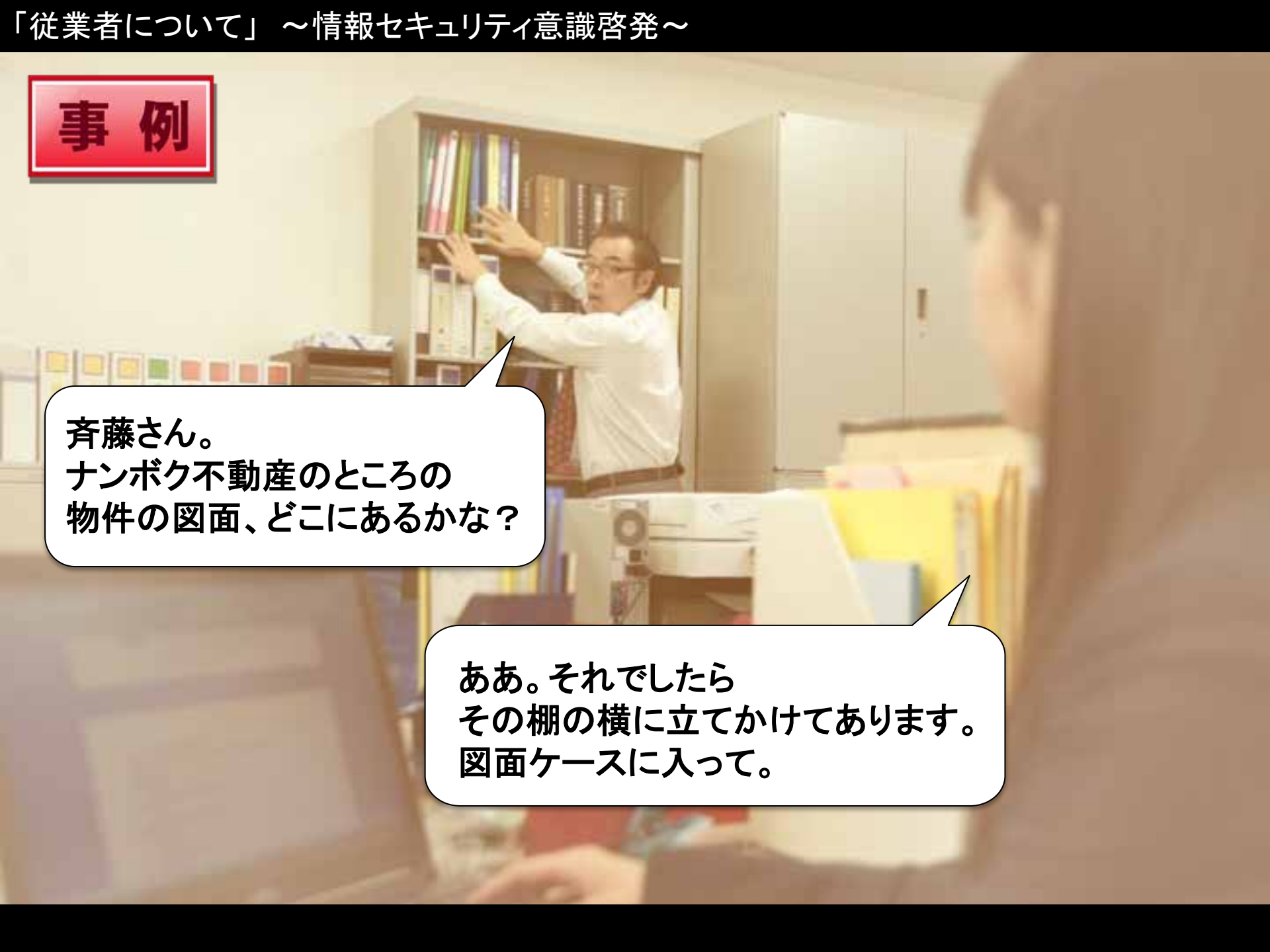
名取 健一 【橘建築設計事務所／課長】
齊藤 洋子 【橘建築設計事務所／業務課の社員】

事例

斉藤さん、どうかしました？
元気無いみたいだけど。

ああ。さっき、
ちょっとな…。

事例



齊藤さん。
ナンボク不動産のところの
物件の図面、どこにあるかな？

ああ。それでしたら
その棚の横に立てかけてあります。
図面ケースに入って。

事例

おう、これか。



事例

あれ？



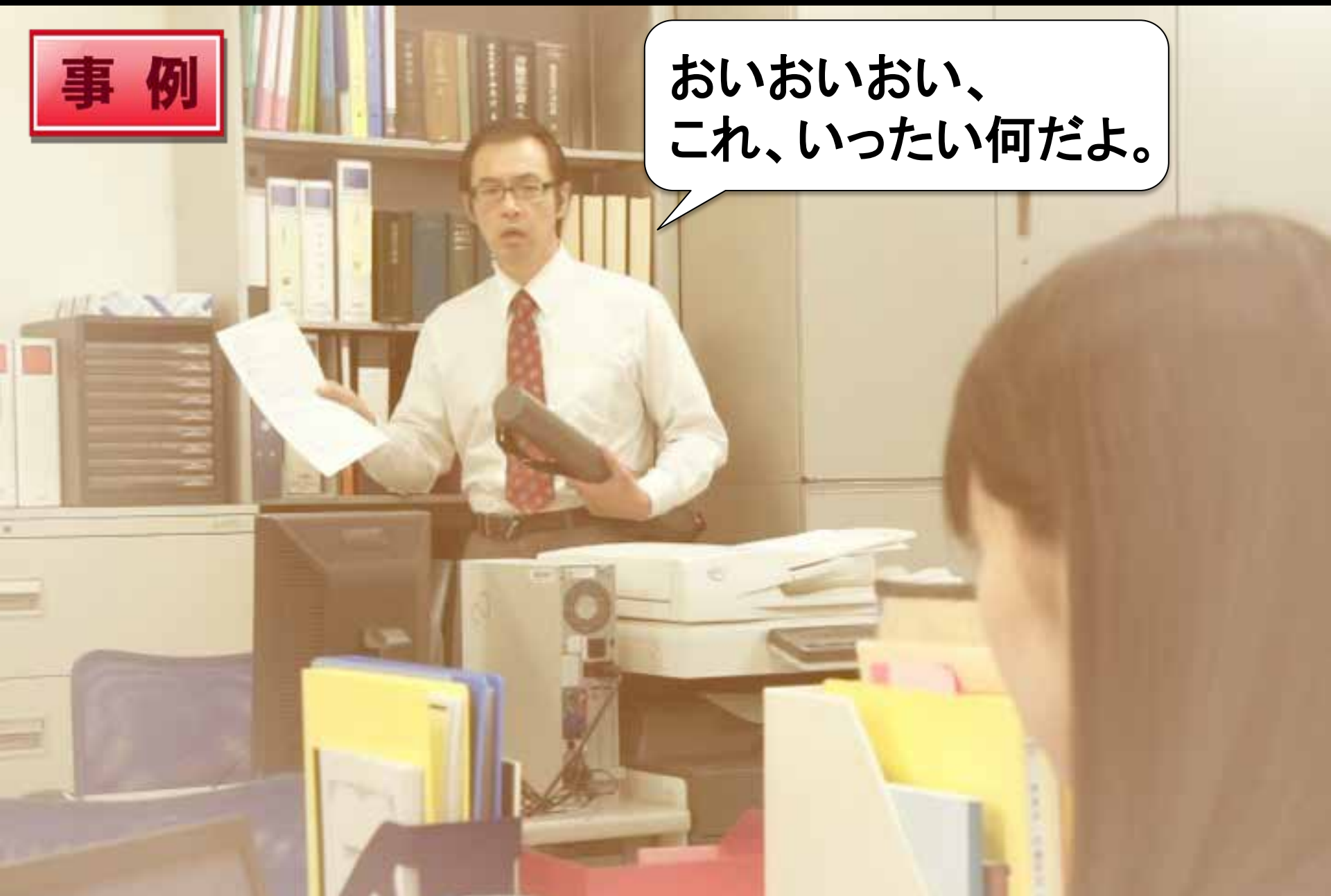
事例

どうかしましたか？



事例

おいおいおい、
これ、いったい何だよ。



事例

イチカワ不動産さんとのメールです。
用済みになったので捨てたんですが。
何か・・・。

何かじゃないよ。
君は用済みと思っても、これ、
誰かが拾って読んだらどうなると思う？

事例

はい……。

双方のメールアドレスも一目でわかるし
メールの内容だって一目りょう然だ。
このまま廃棄して、万一それが
外に漏(も)れたら大変なことになるよ。
気をつけないと。

事例

すいませんでした。



事例

フーン、
そうだったんですか？

少し言い過ぎたかな。



事例

そんなことは無いと
思いますよ。**ただ、**

ただ？



事例

彼女がしたことそのものよりも、
情報の重要性について彼女が
何も考えずにいたことが問題です。

私も同感だね。このままだと、
また同じ様なことをしかねない。



事例

どうする？

はい、色々な方法が考えられるので、
少し考えさせてください。

学習の意図



積算や設計図書、あるいは各関係機関とのファックスやメールによるやりとり・・・、これらすべてに企業にとって重要な情報が含まれています。ある意味、情報とは仕事そのものと言っても過言ではないでしょう。

学習の意図



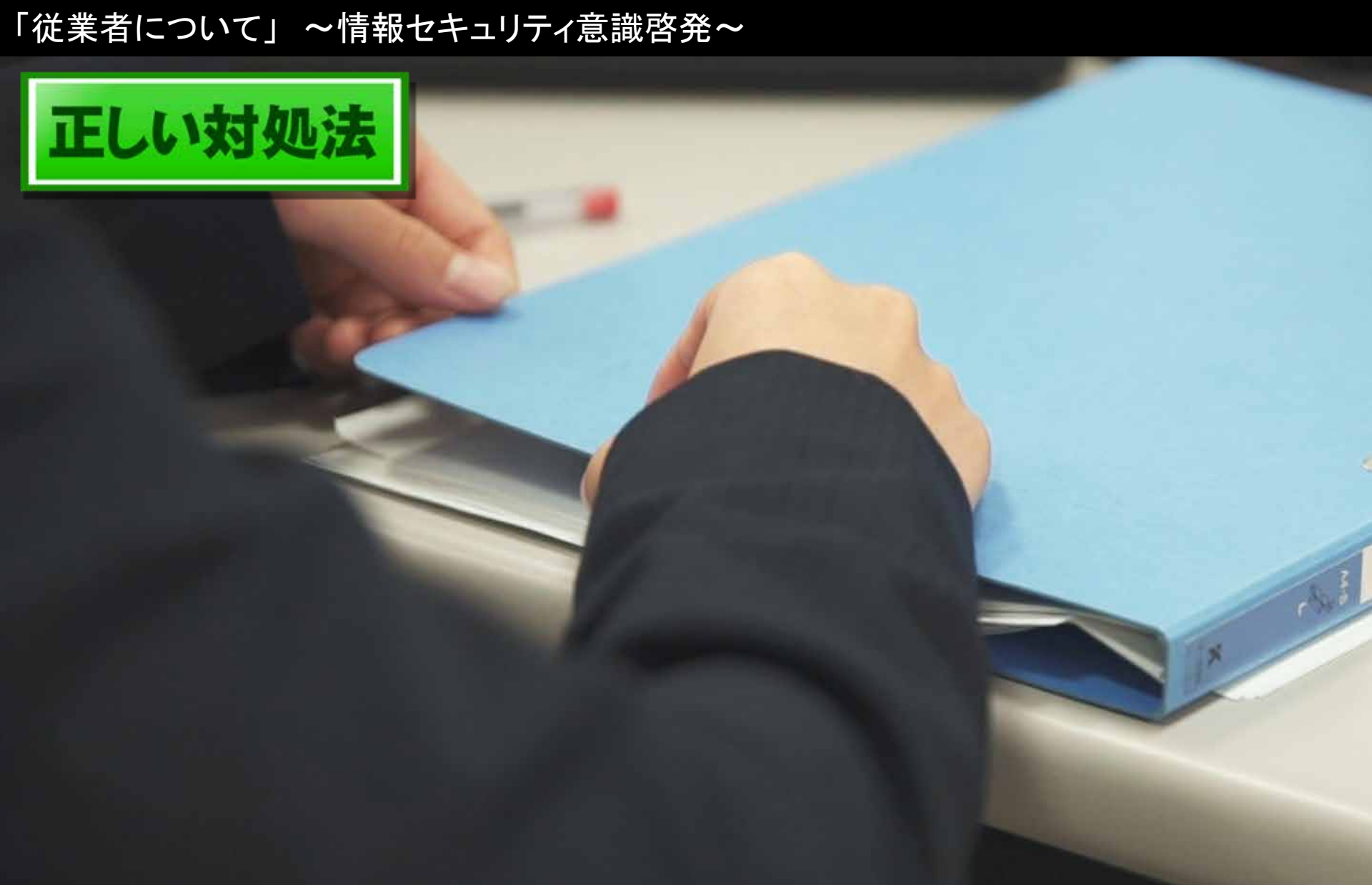
情報は会社の経営上、大変に重要な意味を持っており、万一それが外部に漏洩(ろうえい)した場合には、社会的信頼の失墜につながります。それほど、情報は会社にとって大切なものなのです。

学習の意図

「情報セキュリティの意識啓発」について、以下を学習しましょう。

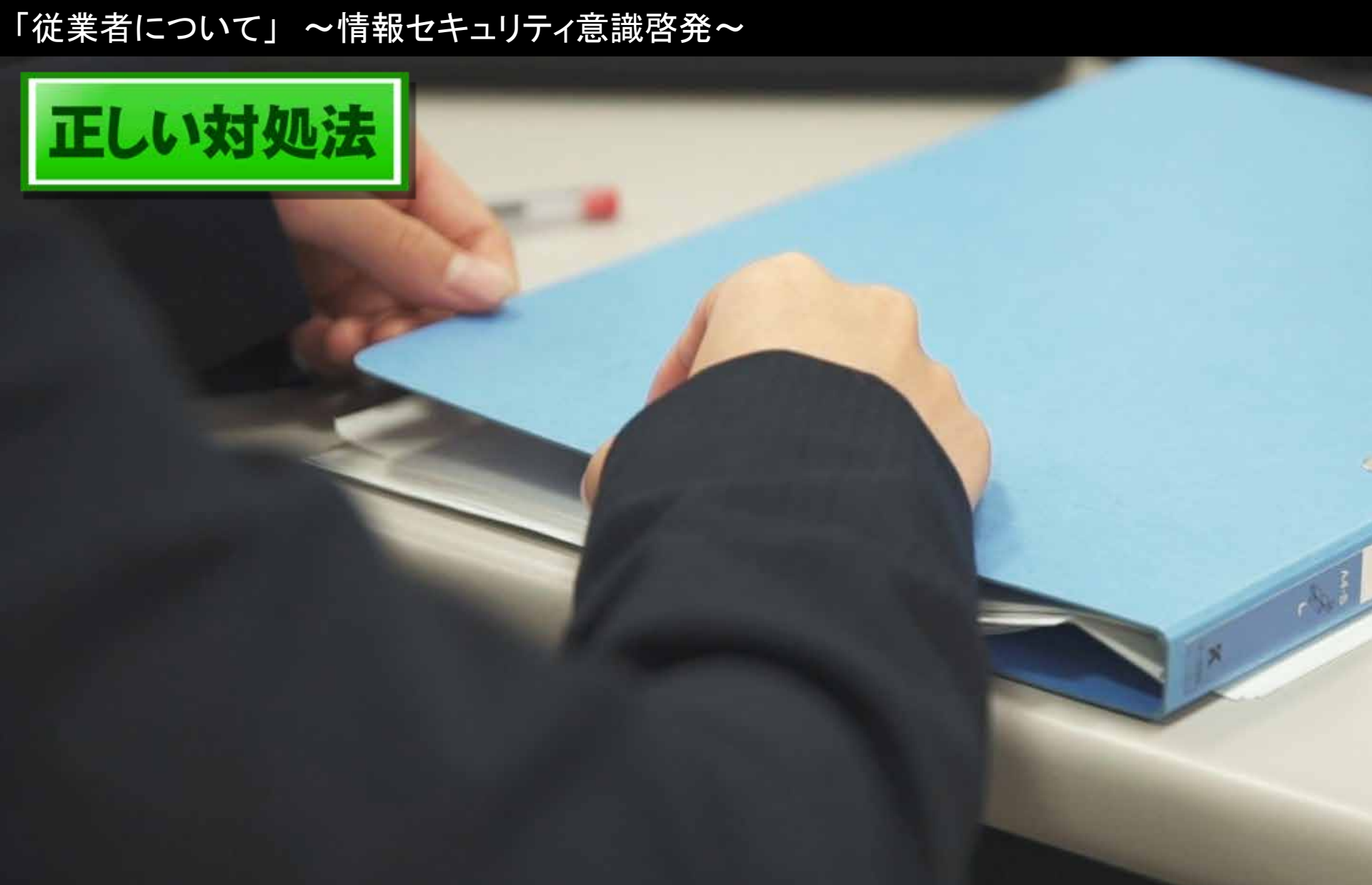
1. 社員への意識付け

正しい対処法



会社で扱う情報は、粗末に扱って良いものは1つとしてありませんが、多忙さや、慣れの中で、その重要性を忘れがちです。仕事を通して扱う情報は、すべて会社の財産であり、外部に漏(も)れることは絶対に避けなければなりません。

正しい対処法



皆さんが、そうした情報についての意識をしっかりと社員に伝えることで、会社の情報セキュリティはきちんと機能することを忘れないでください。

確認テスト 問題

No.20 従業者について ～情報セキュリティの意識啓発～

Q1

情報管理の意識について、不適切なのはどれでしょう。

選択肢

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 会社の情報について重要性の意識を高める。 |
| | 2. 会社が実施する情報管理研究会に参加する。 |
| | 3. 情報管理のノウハウを習得するよう取り組む。 |
| | 4. 多忙時は情報管理よりも仕事効率を優先する。 |

次のページで正解と
解説を確認しましょう

確認テスト 正解と解説

Q1

情報管理の意識について、不適切なのはどれでしょう。

正解	選択肢
	1. 会社の情報について重要性の意識を高める。
	2. 会社が実施する情報管理研究会に参加する。
	3. 情報管理のノウハウを習得するよう取り組む。
●	4. 多忙時は情報管理よりも仕事効率を優先する。

【解説】

会社で扱う情報は、多忙さや慣れの中で、ついついその重要性を忘れがちですが、それらはすべて会社の財産であり、外部に漏(も)れることは絶対に避けなければなりません。